



多彩な専門を有する万博学会の25人のメンバーが、25の視点、関心から大阪・関西万博を熱く、深く、ときに時空を超えて語りつくす、世界中で本誌でしか実現しない総力特集号。さらに、新進気鋭の若手研究者による最新の研究を収録する。

## 《内容目次》

### 特集 万博学で考える二〇二五年大阪・関西万博

万博会場で世界の科学技術の「いま」を見る、ただし八時間で。

有賀暢迪  
飯田 豊  
石川敦子  
市川文彦  
井上さつき  
岩田 泰  
鵜飼敦子  
神田孝治  
岸田匡平  
君島彩子  
五月女賢司  
統一テーマは必要なのか— 私たちにはまだまだ言うことがある

佐野真由子  
テーマ事業のプロデュースシステムが起こした『感染』現象  
万博の目玉展示は変わったか？  
何が日本を伝えるのか  
カナダ館のアン  
洪沢栄一の二〇二五年万博訪問記  
現代におけるパリ万博の不在— 一九八九年と二〇二五年の計画

寺本敬子  
中牧弘允  
能勢和宏  
長谷川香  
牧原 出  
齋 斎  
増田 佳里  
森誠一朗  
遺産（レガシー）をめぐって  
見えない統合、見えない危機— 二〇二五年のヨーロッパ像  
お祭り広場とシャインハット  
貴賓きたる！大阪・関西万博  
〈平和的抵抗〉としての万博— 「パレスチナはここにいる」という  
宣言から  
万博の残影— 工芸文化の継承  
「展示デザイン」の変遷からみる日本館

### 万博学の最前線

最小の国家が内包する「全世界」— 一九三七年パリ万博バチカン館における宣教の展示  
古沢ゆりあ  
一九世紀万博とイラン国王ナーセロッディーン・シャーの旅行記  
寺田悠紀

## 万博学会 編 万博学／Expo-logy 第4号 特集 万博学で考える 二〇二五年大阪・関西万博

2025年12月刊行予定(年1回発行)

定価：2,750 円(税10%込)

▶A5判 200頁 ISBN 978-4-7842-2123-3


【電子版も販売予定】

万博学会については  
こちらをご覧ください。  
<https://cp.educ.kyoto-u.ac.jp/expo-logy/>



## 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009  
<https://www.shibunkaku.co.jp> E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注 文 票		発 行 : 思 文 閣 出 版		( 京 都 取 引 コ ー ド 3402 )	
冊 数	冊	万博学／Expo-logy 第4号		本体2,500円(税別)	ISBN978-4-7842-2123-3
定期購読	第_____号より_____冊		◎送本方法は下記参照。定期購読の方は送料500円。 ◎書店でもお申込みいただけます。		
お 名 前			tel	本書HPのQRコード 	
ご 住 所	〒		e-mail		
送本方法	代引 (書籍代+消費税+送料900円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます◎				

# 万博学／Expo-logy 創刊号

万博学会研究会編

【2022年12月刊行 電子版有】



創刊にあたって

【特集 植民地なき世界の万博】

万国博覧会と「植民地」の消滅——国際博覧会条約一九七二年改正を中心に  
万国博覧会における「アフリカ表象」をめぐる  
パビリオンと音楽——戦後の万博における前川國男  
コラム 大阪・関西万博における途上国支援について——実務担当者の目線から  
座談会 対等であるとはどういうことか

【万博学の最前線】

日本製カメラの一九五〇年代——輸出と展示会と万博と  
一八七六年フィラデルフィア万国博覧会と西郷従道  
聖地・上野公園にみる博覧会の「分類」と「遷移」

【これも万博資料】

コラム 欧州の〈都会案内〉にみる、万博見物指南  
コラム 万博が登場する小説・映画

▶A5判・200頁／定価 2,200円

万博学会研究会 代表 佐野真由子

佐野真由子  
ウスビ・サコ  
井上さつき  
一坂浩史

白山真理  
関根 仁  
香名貴彦

市川文彦  
岩田 泰

ISBN978-4-7842-2048-9



# 万博学／Expo-logy 第2号

万博学会研究会編

【2023年12月刊行 電子版有】



【特集 万博と冷戦】

一九六七年モントリオール万博に見る科学技術国家の自画像——大阪万博との比較を通じて  
アメリカ対外情報政策の延長線上の大阪万博  
対峙と売込み——冷戦期万博における東側陣営の二重戦略  
コラム モーリス・タックマンのNew Arts  
冷戦と脱植民地化の接点としての万国博覧会研究  
インタビュー パビリオン建築に関わって——ドバイ万博から大阪・関西万博へ

永山祐子 関き手 佐野真由子、岸田匡平

【万博学の最前線】

天皇の儀礼空間としての博覧会——内国勸業博覧会と二つの博覧会構想に注目して  
図書館と万博の関係を再考する——近年の万博関連公式資料収集の進展から  
ロングエッセイ 博覧会資料と関わって二五年

【これも万博資料】

コラム 展覧会「万博と仏教」を監修して  
コラム カレンダーにみる一九七〇年大阪万博

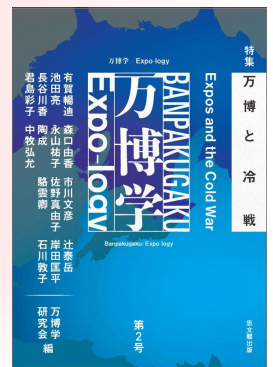
▶A5判・220頁／定価 2,200円

有賀暢迪  
森口(土屋)由香  
市川文彦  
辻 泰岳  
池田 亮

長谷川香  
陶成・駱雲卿  
石川敦子

君島彩子  
中牧弘允

ISBN978-4-7842-2060-1



# 万博学／Expo-logy 第3号

万博学会研究会編

【2024年12月刊行 電子版有】



【特集 大阪万博と前後語の世界】

カナダ史と万国博覧会  
——モントリオールと大阪にみる脱自治領化と脱植民地主義の表象  
沖縄国際海洋博覧会と平和祈念公園の成立  
——大濱信泉と稲嶺一郎の活動から  
対談 「昭和四〇年代論」の可能性——大阪万博前後の社会相  
万国博覧会における欧州共同体の「結集」  
——沖縄（一九七五）・ノックスヴィル（一九八二）・つくば（一九八五）・バンクーバー（一九八六）を中心に  
高松宮と万国博覧会——戦後の皇室外交におけるブリュッセル万博をめぐる

万博の日本館から見える展示映像アーカイブの意義——保存されない映像

【これも万博資料】

コラム カレンダーにみる二〇一〇年上海万博  
コラム 朝日放送と一九七〇年大阪万博

【万博学の最前線】

魁の人・瀧川惣助と博覧会——新都・東京で開いた七宝の新機軸  
万国博覧会と帝国主義

▶A5判・236頁／定価 2,750円

鈴木健司

君島彩子

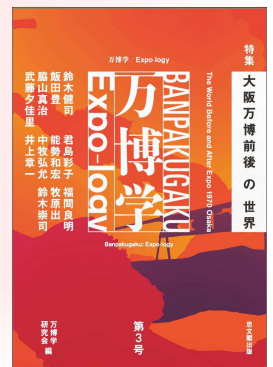
福間良明×飯田豊  
能勢和宏  
——沖縄（一九七五）・ノックスヴィル（一九八二）・つくば（一九八五）・バンクーバー（一九八六）を中心に  
牧原出

脇山真治

中牧弘允  
鈴木崇司

武藤夕佳里  
井上章一

ISBN978-4-7842-2104-2



インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。